

令和2年9月7日

吉川福祉専門学校
校長 久田晴實 様

吉川福祉専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 小潟 竜一

令和2年度 第1回学校関係者評価委員会報告

令和2年度第1回学校関係者評価委員会において実施した「令和元年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価委員名簿

阿部 慎也	グループホーム・小規模多機能型居宅介護 サンパティオ 施設長
小潟 竜一	特別養護老人ホーム吉川平成園 介護課長
中山 望	埼玉県立三郷高等学校長
山岡 千賀子	介護保険複合施設憩いの里 介護職員 卒業生
與儀 忍	ケアセンター岩槻名栗園 副施設長

(五十音順)

2 学校教職員

久田 晴實	吉川福祉専門学校長
池上 千恵美	同 教員
須賀 成則	同 事務長
山本 晃市	同 事務長代理
田村 貴章	同 係長

3 学校関係者評価委員会の開催について

令和2年度第1回学校関係者評価委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議形式での委員会に代え、書面での報告・意見聴

衆・評価とさせていただきました。

4 学校関係者評価結果
別紙のとおり

以上

令和2年度吉川福祉専門学校 第1回学校関係者評価報告書

令和2年9月7日

1 「令和元年度自己評価報告書」に対する評価の実施

(1) 学校の理念、教育目標

- ・専門性や技術だけではなく人間性を高める理念、目標は現場でも非常に重視している課題ですので、人間力の高い介護福祉士の育成に期待します。
- ・吉川福祉を卒業し当施設で働いている職員を見ていると、学校の教育理念を吸収してきており、当施設ではなくてはならない人財となっています。この理念、教育目標を中心に引き続き取り組んでいただきたいと思います。

(2) 本年度の重点目標と達成計画

- ・学生の時期から地域共生社会の構築のために、地域密着事業の拠点を作ることを学び、体験していただくことは未来の介護では特に重要な学びですので、是非、目標を達成していただきたいと思います。
- ・重点目標・達成計画を支えるのは、校長を始めとした、講師、事務職員の学生への指導に対する熱意です。学生たちにはその熱意が伝わっており貴校での学びは卒業生の財産となっているように感じます。
- ・実習生を受け入れる中で、学校における質の高い教育と教員の方の学生に対するサポート力の強さが感じられています。

基準1 教育理念・目的・育成人材

1-1 【理念・目的・育成人材像】

- ・教育理念と教育目標に基づいて重点目標を達成されるとともに、今後の課題を明確に分析された上で、本年度の教育活動に取り組まれている様子が伝わります。

基準2 学校運営

2-5 【人事・給与制度】

- ・平成30年度も評定が「2」であった。職員の環境を改善することは、より良い教育環境を整えることにもつながると思うので、できる限り改善してほしい。

基準3 教育活動

3-8 【目標の設定】

- ・学生の個人指導に相当な時間を費やしている状況が伺え、先生方の取り組みには敬意を表します。その上で介護福祉士業務の魅力を伝えていただけるとありがたいです。

3-12 【教員・教員組織】

- ・学生にとって教員の指導影響力は大きいと思いますので、教員の人材確保ネットワーク構築には特に注力していただければと思います。

基準4 学修成果

4-14 【資格・免許の取得率】

- ・介護現場としては、養成校卒業＝介護福祉士資格保有の期待が強く、今後も介護福祉士国家試験全員合格に努力していただきたい。結果、学校のアピールも強くできると考えられる。

4-15 【卒業生の社会的評価】

- ・吉川福祉を卒業した学生は倫理と技術、職場での人間関係も対応できています。

基準5 学生支援

5-18 【学生相談】

- ・留学生を毎年受け入れていくことで、学生たちにも外国人スタッフに対する苦手意識が無くなるので、これからも留学生を積極的に受け入れる必要があると思います。

5-19 【学生生活】

- ・ 高校生の中には金銭面で進学を諦め働く方もいるので、学生だけでなく親にも介護福祉士修学資金制度の案内を広く勧めていく必要があると思います。

基準6 教育環境

- ・ 特になし

基準7 学生の募集と受入れ

7-25 【学生募集活動】

- ・ コロナ禍において、今まで出来た活動が出来ないこともあると思いますが、コロナ禍でしか学べないこともあり感染対策は大きな学びとなると思います。新しく始められた YouTube での配信も介護や学校の魅力を伝えていけるとと思いますので、大変かと思いますが積極的に活用し、学校を身近に感じられるようにして行ってください。

基準8 財務

- ・ 特になし

基準9 法令等の遵守

- ・ 特になし

基準10 社会貢献・地域貢献

10-37 【ボランティア活動】

- ・ 学内教育だけでなく社会（地域）貢献・ボランティア活動等を通じ、人を育てる環境がありとても魅力的であると感じられる。